

関金地区版シュタットベルケの構築に向けた  
エネルギー・買い物支援・生活拠点×交通の共創事業

【事業概要】

倉吉市関金地区では地区内に唯一あった食料品・日用品店が今年閉店し、また高齢化も進む中で高齢者の買い物支援が喫緊の課題となっている。さらに、地域内を運行する路線バスは利用者数の低迷と行政負担の増加が深刻化しており、住民の利便性を向上させながら、持続可能なサービスの提供が求められている。

こうした地域課題を解決するため、本事業では「関金地区版シュタットベルケ」の構築によるエネルギーと公共交通を基軸とした持続可能で暮らしやすい地域を目指し、再生可能エネルギーの売電収益を活用した乗合タクシーの運行や買い物支援の仕組みの実証を行う。



以下の①～⑤の事業を実施する。

### ①外出を促進する予約型乗合タクシーの運行

- 既存の路線バスを見直し、予約型の乗合タクシーを運行する(Door to Doorによる運行)
- 運賃は定額制の仕組みとして、外出を促進
- 定額会員に対しては、幹線となる路線バスの割引き料金等を検討

### ②行政施設を活用した買い物拠点整備との連携

- 関金支所・総合文化センターは交通結節点として位置付ける
- 関金支所には地域商店を設置し、買物環境を整備

### ③乗合タクシーを活用した高齢者等への買い物支援

- 地域商店では買い物代行サービスを行い、スマホによる受付可能な仕組みを構築する。
- 乗合タクシーの空き時間を活用した宅配を行う

### ④高齢者等へのIT利活用の推進と支援

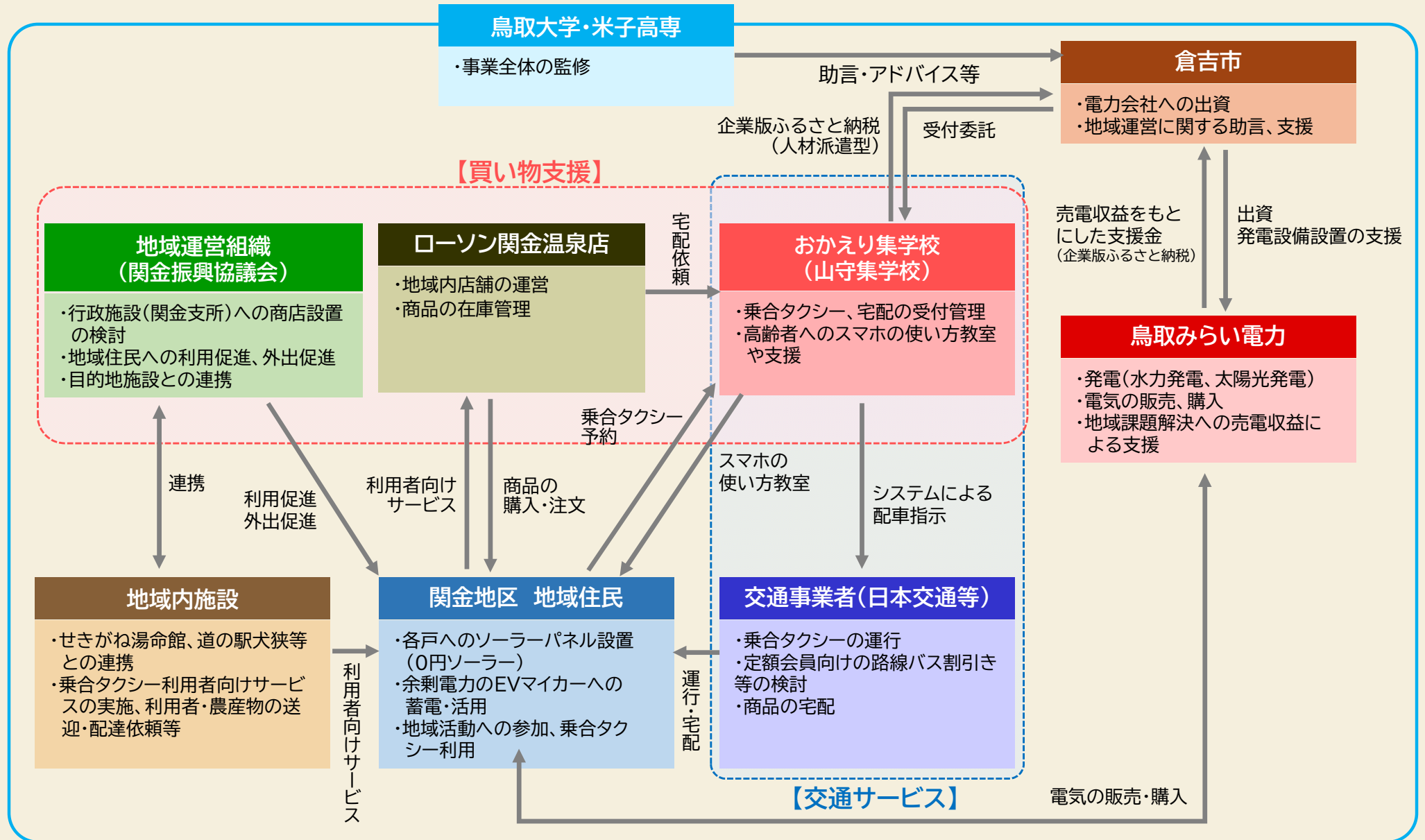
- 予約型乗合タクシーや買い物代行サービスは、スマホによる受付も可能な仕組みとする
- 上記を支援するため、高齢者等向けのスマホの使い方教室を行いIT利活用を支援する

### ⑤再生可能エネルギーを活用した持続可能な仕組みの検討【脱炭素交付金が採択された場合】

- 地域内に水力発電や太陽光パネルを設置し、売電収益を乗合タクシーの運行に充てる仕組みを試行
- 将来的には、売電収益をもとに電力会社から交通事業者等に運行を委託する仕組みを検討し、関金版シュタットベルケを目指す



## 関金地区版シュタットベルケ共創プラットフォーム



# 4. スケジュール(令和5年度)

令和5年度	12月	1月	2月	3月
事業に関する住民説明	←→			
住民ニーズの把握 (アンケート調査)	←→ 調査票の配布・回収		←→ 入力・集計	
予約型乗合タクシーの検討・調整	←→			
車両の選定	←→			
配車システム環境の仮構築			←→	
買い物支援に関する運用検討	←→			
報告書作成			←→	
全体会議	● 12/14		● 2月下旬予定	
(脱炭素交付金の申請準備)	←→			→ 次年度以降に提出予定
(関金支所への商店施設の整備)	←→			
(R6年度共創モデル実証PJ申請準備)		←→	★ 2月上旬提出予定	



# 4. スケジュール(令和6年度)

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R6年度共創モデル実証PJ交付決定	----->											
乗合タクシー運行に関する準備	住民説明会		地域公共交通会議承認・申請			住民説明会・広報						
	←					←						
			システム導入準備			←						
			車両準備			←						
	←					←						
買い物支援に関する運用検討・システム構築	←----->											
乗合タクシーの実証実験							←----->					
実証実験の評価・検証 (路線バス乗降調査・アンケート調査等)							←----->					